

製品名: SPOP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18207**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	SPOP
別名	Speckle-type POZ protein (HIB homolog 1) (Roadkill homolog 1)
遺伝子 ID	8405.0
SwissProt ID	O43791
免疫原	抗血清はヒト SPOP の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

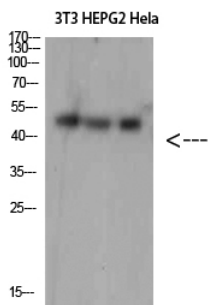
この遺伝子は、ヒストン脱アセチル化酵素、コアヒストン、およびその他のヒストン関連タンパク質と相互作用する、デス関連タンパク質 6 (DAXX) の転写抑制活性を調節する可能性のあるタンパク質をコードしています。マウスでは、このタンパク質は、不活性

化X染色体上に豊富に存在するバリエント H2A ヒストンであるマクロ H2A1.2 の推定ロイシンジッパードメインに結合します。このタンパク質の BTB/POZ ドメインは、他のタンパク質において転写抑制を媒介し、ヒストン脱アセチル化酵素コリプレッサー複合体の構成要素と相互作用することが示されている。この遺伝子の選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエントが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],ドメイン: MATH ドメインは H2AFY および BMI1 と相互作用します。機能: インスリンなどの確立された標的プロモーターの IPF1/PDX1 転写活性化は、リプレッサー複合体をリクルートすることによって阻害される可能性があります (類似性による)。 CUL3 と複合体を形成し、BMI1、H2AFY、および DAXX のユビキチン化に関与し、おそらく Gli2 または Gli3 のユビキチン化およびプロテアソーム分解にも関与しています。その他: 強皮症患者の血清によって認識される抗原。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: Tdpoz ファミリーに属します。類似性: 1 つの BTB (POZ) ドメインを含みます。類似性: 1 つの MATH ドメインを含みます。サブユニット: ホモ二量体。BMI1、CUL3、および SPOP からなる複合体の一部です。H2AFY、CUL3、および SPOP からなる複合体の一部です。DAXX、CUL3、および SPOP からなる複合体の一部です。H2AFY、IPF1/PDX1、BMI1、および DAXX と相互作用します。CUL3 と相互作用する。組織特異性: 広く発現する。、

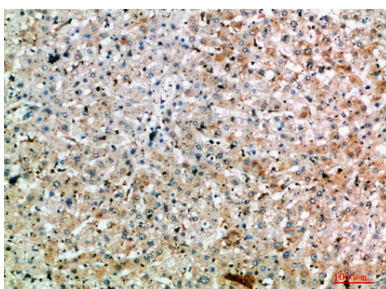
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、DNA/RNA、RNA プロセッシング

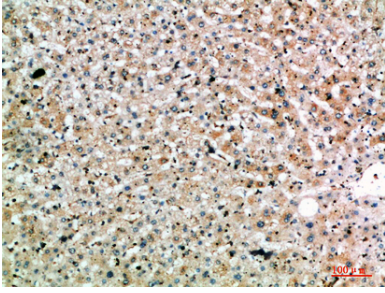
画像データ



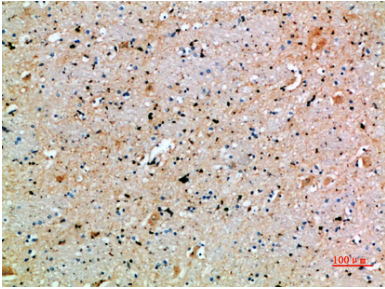
SPOP ポリクローナル抗体 (1:1500 希釈) を用いた 3T3 HEPG2 Hela 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



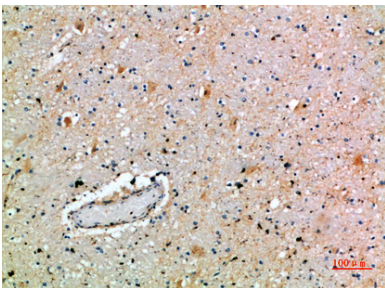
パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された